

お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	当科における小児外科領域の腹腔鏡手術成績の評価
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2026年12月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2012年12月1日から2023年12月31日までに鹿児島市立病院 小児外科で開腹・直視下手術または腹腔鏡手術を受けられた方
使用する情報等	患者背景 ：基礎疾患、原疾患、性別、年齢、身長、体重、BMI、病恹期間 等 検査結果 ：血液検査、画像検査 等 手術内容と術後経過 ：術式、手術時間、入院期間、術後栄養開始時期、術後鎮痛剤と抗生剤の使用期間、術後観察期間、術後合併症の有無、予後 等
研究の概要	内視鏡外科手術は手術侵襲が少なく、術後の早期回復や整容性にも優れています。医療機器の発展に伴い、小児外科分野においても腹腔鏡手術の適応は拡大し、当科でもソケイヘルニア根治術、腸重積症手術、メッケル憩室摘出術、虫垂炎手術、胃瘻造設術、噴門形成術などにおいて腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。しかしながら小児は成人と比較すると、腹腔内スペースが狭く対象となる臓器が小さいため、腹腔鏡手術の難度は高く、疾患によっては、腹腔鏡で行うことが患者の不利益になる可能性もあります。小児外科疾患における腹腔鏡手術の評価を行い、疾患に対する適切な術式を選択することは重要です。 本研究は、当科で開腹・直視下手術または腹腔鏡手術を施行された症例を疾患ごとに評価し利点、欠点を明らかにすることを目的としました。開腹・直視下手術群と腹腔鏡手術群にわけ、疾患ごとに手術時間、入院期間、術後合併症などについて後方視的に比較検討を行なうことで、疾患に応じた適切な術式を選択することが期待できると考えます。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会で承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。

お問い合わせ先・ 相談窓口	<p>病院ホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。 なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困難になる場合があります。</p> <p>研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。</p>
	<p>研究責任者 氏名：松久保 眞 所属：小児外科 連絡先：鹿児島市立病院 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号 TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p>